



〒975-0031  
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地  
 TEL:(0244)26-1315  
 FAX(0244)26-1318  
 E-mail:sousou.kyoubu@pref.fukushima.lg.jp

令和7年度 第1回

## 南相馬市立上真野小学校校内ビブリオバトル大会

- 日 時：令和7年9月9日（火）13：15～（昼休みの時間）
- 会 場：南相馬市立上真野小学校図書室・会議室
- 内 容：児童会図書委員による校内ビブリオバトル
- 発表者：8名（4年生…3名、5年生…4名、6年生…1名）
- 観戦者：上真野小学校全児童、教職員



上真野小学校図書委員会の企画として、夏休み前から準備してきた、校内ビブリオバトルが行われました。今回は8名の図書委員会の児童がバトラーとして、1～3年生までの低学年向け（図書室）と、4～6年生の高学年向け（会議室）に分かれてビブリオバトルを行いました。

ビブリオバトルと言いますと、自分の好きな本を紹介し合ってバトルしていくのが普通ですが、今回は対象の学年に合わせた選書をしていました。高学年の児童にとって、低学年の部の選書は特に気を使ったものになっていました。

ビブリオバトルの醍醐味は、発表だけではなく、発表を聞いてからのディスカッションにあります。今回のビブリオバトルでも、発表を聞いてたくさんの質問や感想がありました。

物語や図鑑、実用本など多種多様な本が紹介されていたので、その本に合わせた質問が出されていました。漢字に興味を持てた本、震災や津波について考えさせられた本、熊の生態に関する本など、どの本も読んでみたくなりました。投票はICTを活用して、タブレット端末で行っており、集計も一瞬でできていました。この投票システムは、今後校内ビブリオバトルを行う際には参考になると思います。



バトルが終わると、集計の画面を見て、「前やった時は最下位だったけど、今回はたくさん票が入ってうれしい」「緊張したけど、なんとか上手に発表できた」「またやってみたい」などと、様々な感想も聞くことができました。

「第五次福島県子ども読書活動推進計画」を作成するにあたって、小学生・中学生・高校生約100人を対象としてアンケートを実施しました。その中で、「みんながもっと本を読むようになるためには、大人（学校・図書館・保護者）は何をすれば良いと思いますか。」という質問をしたところ、大人も共に読書をすることや、環境の整備を整えることと共に、ビブリオバトルなどのイベントを開催した方が良いという意見が出されていました。

ビブリオバトルを求めている児童・生徒は確実に増えております。相双地区でも校内ビブリオバトルをする学校が増えていくことを願います。子どもの読書活動が盛んになるように、学校でも地域でも、子どもも大人も読書に親しんでいきましょう。

### 上真野小学校校内ビブリオバトル発表本一覧

	発表者	書名	著者、作者	出版社
低学年の部	4年男子	ウワサの学校なぞなぞ	ワン・ステップ 編	金の星社
	4年女子	うどんのうーやん	岡田 よしたか	ブロンズ新社
	5年女子	おにぎりに はいりたいやつよっといで(👑低学年の部チャンプ本)	岡田 よしたか	佼正出版社
	5年男子	100円たんけん	中川 ひろたか	くもん出版
高学年の部	4年女子	3分間ミステリー 真実はそこにある	粟生 こずえ	ポプラ社
	6年女子	54字の物語	氏田 雄介	PHP 研究所
	5年男子	3.11が教えてくれた防災の本 2 津波	片田 敏孝	かもがわ出版
	5年男子	講談社の動く図鑑 MOVEmini 危険生物(👑高学年の部チャンプ本)	小宮 輝之 (監修)	講談社

